



吉見 大 議員

委託業務の透明性確保と  
行政内部の能力向上に  
向けた取り組みについて

**問** 将来の財政運営への影響を  
どのように分析しているのか

**答** 持続的な財政運営を図るためには、行財政改革を強力に進める必要があると考えております

**問** 令和7年度一般会計予算における委託料の総額、歳出に占める割合は。

**答** 総務部長

委託料は約40億8千7百万円となり、歳出予算総額の約12・4%を占めています。

**問** 市民にとっては見えにくい支出であるが、この規模をどのように捉え、将来の財政運営への影響をどのように分析しているのか。

**答** 総務部長

委託業務は適正な行政事務や施設等の維持・運営を図るうえで欠かせないものであり

ます。このため、将来に向け

持続的な財政運営を図るためには、委託事業ごとの精査、各種事業の見直しや公共施設の再編など行財政改革を強力に進める必要があると考えております。

**問** 行政内部に残すべき知識やノウハウ等をどのように整理しているのか。

**答** 総務部長

施策立案や基本方針の策定など、行政の根幹に関わる業務については、市職員が担うべきものと考えています。

**問** 市民からは「委託の内容や成果が分かりにくい」との声もある。委託業務の透明性を高め、市民に分かりやすく説明していく考えはあるのか。

**答** 総務部長

委託契約については、契約規則等に基づき行っており、競争入札など受注者決定経過などについては市のホームページ等で公開することと、透明性の確保を行っております。

**問** 委託事業を通じて行政内部の能力向上につながった具体例や課題について問う。

の能力向上につながった具体例や課題について問う。

**答** 総務部長

業務を外部に委託することにより、交渉力や説明能力の向上、ノウハウ等を吸収することができ、業務の専門性の強化にも繋がっていると考えております。

課題としては、市職員による業務の統括、または管理する能力が最低限必要となることから、必要な専門職の人材確保や育成に努めてまいります。

**問** 行政能力の向上・透明性の確保・財政健全化を両立させるための「委託の適正化方針」について問う。

**答** 総務部長

現時点では策定することは考えておりませんが、業務委託の効果について総合的な検討を行い、業務委託の導入について判断し、更新する際には効果を検証し、業務委託の継続や、必要に応じて委託内容や委託料の見直しが必要であると考えています。

その他の質問

・熊出没への備えと緊急時対応体制の強化について